

JREL 情報

仙台地本情報

J R 東労働組合 仙台地方本部情報
2022年 9月 1日
発行責任者 武田 浩之
編集責任者 情 宣 部
No.004

仙台地本「第2回 松川研修」開催！！



庭坂事件慰霊碑で
伊藤正樹さんが献花しました

塾長の佐藤寛大さん

松川事件『殉職之碑』で
高橋拓人さんが献花しました

2022年8月17日、仙台地本「第2回松川研修」を開催し、19人が結集しました。松川塾を5月に立ち上げ、意見を出し合い、時代背景を中心に学習を積み重ねました。研修では、塾生が自分の言葉で松川事件を語りました。その後、三河会館に移動し、第3回松川塾で行った、松川運動記念会安田理事長（松川事件国家賠償請求訴訟弁護団）との意見交換会の報告をしました。

参加者から「安田理事長の思いや時代背景を聞き、昨年以上に学ぶことが多かった」「職場では会社施策に無関心の人もいるが、無関係ではいられない。真面目にたたかう労働組合が必要であり、横断的労働組合を目指して個人加入を更に拡大していく」という感想が出されました。

松川事件とは

1949年8月17日、東北本線松川～金谷川間のカーブで上り普通列車が脱線転覆した謀略事件です。「下山事件」「三鷹事件」と共に国鉄三大謀略事件と言われ、未だに犯人は捕まっていません。翌日には内閣官房長官の増田甲子七（ますだかねしち）が、詳細が明らかになっていないにもかかわらず「今回の事件は今までにない凶悪事件である。三鷹事件をはじめ、その他の凶悪犯罪と思想的潮流においては同じである」という談話を発表しました。元国鉄労働者の赤間さんが、でっち上げられた暴行事件で別件逮捕され、長期拘留と誘導尋問などにより「赤間自白」が作られました。それを基に国労福島支部10名、東芝松川労組組合員10名が逮捕・起訴されました。

作家の広津和郎は、雑誌「中央口論」に4年半にわたり無罪論を展開、闘いは全国に広がりました。1959年、最高裁は2審判決を破棄し、仙台高裁に差し戻しました。裁判では検察が隠していた「諏訪メモ」の存在と「自在スパナ」ではボルトが緩められない事が判明し、仙台高裁の差し戻し審で無罪判決、1963年に行われた最高裁では検察側による再上告を棄却、全員の無罪が確定しました。

**「無関心でも無関係ではいられない！」
真面目にたたかうひがし労に加入しよう！**